

2026年3月31日

## ハレックス、AI エージェントと連携可能な 「気象データ MCP サーバ(β版)」提供開始

民間気象会社である株式会社ハレックス(本社:東京都、代表取締役社長:藤岡浩之、以下ハレックス)は、2026年4月より、AI エージェントと連携して自然言語による気象データ参照を可能にする「気象データ MCP サーバ(β版)」の提供を開始します。

本 MCP サーバと連携した AI エージェントは、利用者による自然言語の指示に基づき、MCP サーバ経由でハレックスが提供する各種気象データ API を自動で呼び出すことができます。これにより、利用者は API 仕様やリクエスト生成を意識することなく、業務に必要な気象データを即座に取得・活用できるようになります。また、開発者にとっては API 連携の実装負荷を最小限に抑えながら気象データ取得機能をサービスへ組み込むことができ、開発効率の向上が期待できます。

### ■ 概要

生成 AI および AI エージェントの企業利用が進展する中、AI が外部サービスや各種データへ安全かつ確実にアクセスし、業務プロセスに組み込むための仕組みへの需要が高まっています。MCP(Model Context Protocol)は、こうしたデータアクセスを標準化し、AI が必要な情報を効率的かつ統一的な方法で取得できるようにするための規格であり、開発・連携にかかる負荷を軽減する基盤技術として国内外で採用が加速しています。

ハレックスは、2012年より API による気象予測データ提供を開始し、気象過去データや GIS 向け気象データへの拡張を通じて、企業の気象データ活用を長年にわたり支えてきました。NTT データグループ各社と連携しながら AI 技術の研究・活用を推進してきた当社は、このたび、AI エージェントからの気象データ参照をより容易にし、企業のデータ活用高度化をさらに推進するため、「気象データ MCP サーバ」β版を各種 API サービスのオプションとして提供開始します。本 β 版は、企業の AI エージェント導入・検討段階において、実際の業務ニーズに即した機能検証や要件精査にご活用いただくことを想定しています。

### ■ 期待される効果

#### 1. 気象データ利便性の向上

従来必要だった API リクエストの実装やフォーマット変換が不要となり、自然言語のみで気象データ参照が可能。開発負担の最小化とスピーディな利活用を実現します。

#### 2. DX と気象データの融合促進

自社データ(需要・在庫・工程など)と気象データを MCP で安全に連携でき、LLM による文脈に沿った高度な判断支援・自動化が可能になります。

#### 3. 気象過去データを活用した傾向分析の高度化

ハレックスの MCP サーバは気象予測データだけでなく、気象過去データ API (HalexMemory!)にも接続しており、AI エージェントが過去の気象条件とお客様の各種業務実績 (需要・販売・作業工程など)を照合して傾向を分析できます。これにより、季節性や気象影響によるパターン把握が精緻化され、需要予測の精度向上、リスクの早期検知、計画業務の最適化など、データに基づく再現性のある意思決定を支援します。

## ■ LLM×気象データ MCP サーバのユースケース

< 物流業界 >

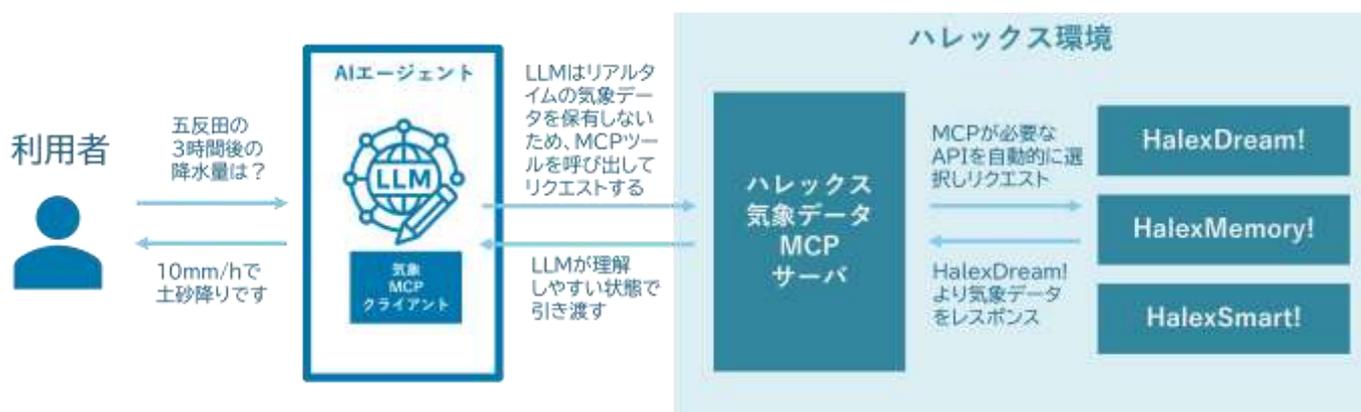
長距離配送計画立案において LLM に気象リスク分析を指示すると、LLM は気象データ MCP サーバを介して出発地から目的地までの複数地点の気象情報を順次取得し、区間別・時間帯別の気象リスク要因をダッシュボード形式で可視化します。加えて、ドライバーの労働時間への影響や、想定リスクに応じた推奨アクションも提示し、現場の判断を支援します。



配送気象リスクダッシュボード出力例 (当社にて Anthropic 社「Claude」を使用して作成)

その他、建設業や流通小売業など気象現象の影響が大きい事業領域においても、LLM が気象データ MCP サーバと連携して気象リスクを分析・可視化する仕組みは、現場の意思決定の高度化を後押しできるものと考えております。

## ■ 利用イメージ



## ■ 基本仕様

- 提供形態:リモートMCPサーバ
- 対応気象データ API:
  - HalexDream! (2週間先予報 API、高解像度降水ナウキャスト)
  - HalexMemory! (気象過去データ)
  - HalexSmart! (GIS用気象データ)
  - ※順次、対応APIを拡大予定
- 対応AIエージェント/ツール:
  - MCP対応ツールにて利用可能 ※Claude Desktop、Difyにて動作確認済

## ■ MCPサーバ(β版)ご利用料金

初期設定料金:無料

月額利用料金:無料

※本MCPサーバβ版の無料提供期間は、正式版提供開始日もしくはハレックスが決定する提供終了日までを予定。

※ハレックスが提供する気象データAPI利用料、AIエージェント利用料、通信料は別途必要。

※正式版では信頼性・サポート体制を順次整備予定。

## ■ 制約事項

個人のお客様への提供は行っておりません。

本MCPサーバβ版は、可用性・完全性等を含め、いかなる保証も行いません。

本サービス利用に起因して生じるいかなる損害についても、当社は責任を負いかねます。

## 【会社概要】

会社名:株式会社ハレックス

代表者:代表取締役社長 藤岡 浩之

本社所在地:東京都品川区東五反田 2-20-4 NMF 高輪ビル 3階

設立:1993年

URL:<https://www.halex.co.jp/>

\*HalexForesight!・HalexSmart!・HalexDream!は、株式会社ハレックスの登録商標です。

\*その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

<p>■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社ハレックス 企画部総務課 担当:山田 yamadatya@halex.co.jp Tel:03-5420-4311</p>	<p>■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社ハレックス ビジネスソリューション事業部 商品企画部 info_weather278@halex.jp Tel:03-5420-4311</p>
---	--